

## 株式会社アルファ新洋

### オープンシステム開発のエキスパートが、 超高速開発ツールで開発手法を一新。 大規模基幹システムを短期で再構築。

金融、流通、貿易のアプリケーションを得意とする株式会社アルファ新洋は、オープンシステム開発のエキスパート。長年育んだノウハウとスキルを活かした手組みによる開発で、ユーザーニーズにきめ細かく対応したシステムを創ることが持ち味だ。

しかし、最近では簡単なシステムなら顧客が内製化でき、受託開発事業の利益は縮小傾向にある。そのような状況下における、多様化する顧客ニーズへの対応や、コスト競争力を強化しつつ利益を確保するため、同社が行った開発改革、それがノンプログラミングツールによる超高速開発だった。

#### お客様が実現できたこと

- ✓ 約 750 画面、帳票も 150 種ある基幹システムを、9 ヶ月ほどの開発期間でリプレイスできた
- ✓ Web システム開発経験の浅いメンバーもノンプログラミングツールで即戦力になった
- ✓ アジャイルな開発手法も可能になり、オープンシステム受託開発の間口が広がった

#### ▶ お客様プロフィール



社 名：株式会社アルファ新洋  
U R L：www.alpha-shinyo.co.jp

住 所：大阪府堺市堺区  
甲斐町東1丁1番10号  
HKビル5階

設 立：1969年3月  
従業員数：74名(2016年8月1日現在)  
事業内容：開発事業・荷役事業

【ソフトウェア受託開発事業】  
オープン系システムを主に開発し、中でも金融、流通、物流分野を得意としている。多彩な業種、業務に精通、先進開発技術のノウハウを活かし、お客様のビジネスの生産性や精度を高めるビジネスソフトウェアを創造。

【構内荷役業務】  
親会社である新洋海運株式会社への業務フォローとして、桑名・宮崎の拠点にて構内荷役業務を担当。

【人材評価クラウドサービス】  
ユニーク且つ緻密な「Web人材評価システム」をクラウドコンピューティングで提供している。人事評価業務をペーパーレス化し、徹底合理化を実現。その評価結果を活用することで人材の能力開発をサポート。



代表取締役社長  
西川博様

### 「開発フェーズでのサポート品質の素晴らしさ」

「当社がWeb Performerを導入するにあたり、キヤノンITソリューションズのサポートには助けてもらいました。

基本的なところはトレーニングで学べても、実際の開発現場ではさまざまな課題に直面します。同社の技術者2名が延べ6ヶ月常駐し、プログラミングに参加すると共に、課題解決のための技術的なアドバイスをしてくれたことに感謝しています」

### — 担当営業紹介 —



SIソリューション事業部  
西川 博英

「大規模システム基幹構築にも威力を発揮するWeb Performer。これからもシステム開発の更なる効率化に貢献します。」



## お客様のご要望

- ▶ パッケージベースの基幹システムを、短期間で運用性に優れたオープンシステムに再構築したい。
- ▶ 優れた開発者の短期養成と能力アップで、開発リソースの付加価値を高めたい。
- ▶ 高速開発で競争力を高め、受託開発の間口を広げたい。



## 導入前の課題と背景

### 手組みによる開発の限界に直面

オープン系開発が得意な御社に、なぜ開発ツールが必要だったのですか？

「当社では、金融、流通、貿易など、業界別に開発チームを編成し、オープン系のビジネスアプリケーションを開発しています。ニーズにきめ細かく対応するために、従来は手組みによる開発がメインでした。しかし、コスト競争激化、開発途中でも見たいという顧客要望、スクラッチ開発での部品共通化や保守改善等に対応すべく、生産性に優れ、モバイルなど新たなユーザーニーズにも応えられる開発手法が必要となりました。

また当社では、理系文系問わず幅広く人材を採用し開発者に育成しますが、それには時間がかかります。加えて、運用担当者はそのシステムの開発者ではない場合も多く、仕様変更などがスムーズに行えないケースもありました。技術や知識レベルに関わらず、全ての開発メンバーが等しく業務をこなせるように、ノンプログラミングの開発ツール導入を検討することにしたのです」



## 導入の必然性

### 品質と顧客満足を損なわず開発効率を高めたい

必要とした開発ツールはどのようにイメージしましたか

「導入する開発ツールに求めた条件は4つあります。まず、開発工数を大きく削減できること、開発者の自由度を確保できること、保守性に優れていること、そして、クライアントサーバー型システムに引けをとらない完成度の高い画面を作れることです。こうした条件で複数のツールを比較検討しました。

あるツールは完成度が高いものの、標準機能に縛られ自由な開発ができませんでしたし、別のツールは自由度はあるものの、標準設定の部分との連携が取れないなど、それぞれ一長一短でした。その中で、Web Performerはノンプログラミングによるスピーディな開発が可能で、なおかつ外部連携の親和性が高かったのです。また、目標とする画面デザインが出来ることも体験版で確認できましたので、導入を決めました」

## 工夫 運用の工夫 大規模基幹システム開発に挑戦

### 最初に構築されたのはどのようなシステムですか

「Web Performer で最初に開発したのは、親会社である新洋海運株式会社の基幹システムです。物流や倉庫、輸出入手続きなど、海上貨物事業に求められる広範囲の業務を支えるもので帳票も 150 種を超えます。以前はパッケージソフトを使っていましたが、業務の拡大や日々進化する業務に伴い、既存パッケージのカスタマイズでは対応が難しいケースも増えてきたこと、また、新たな要求に合わせてカスタマイズするには多額のコストがかかることから、抜本的にリプレイスすることになったのです。

ヒアリングと要件定義に約半年、構想設計に 1 年、プログラミングに 9 か月、そしてテストは 4 か月というスケジュールです。要件定義に先立ち、ユーザーから既存システムの課題をヒアリングしたところ、200 以上の改善要望が寄せられました。そうした要望を反映し、かつ帳票やワークフローなどはできる限り既存業務体系に合致させる必要があります。これを従来手法で開発していたら、膨大な工数がかかるうえ、品質を担保するのは容易ではなかったでしょう」

### Web Performer の標準機能だけでは実現できない機能や仕様はどう対応されましたか

「このシステムには、NACCS（輸出入・港湾関連情報システム）向けデータ書き出しなど外部システムとの連携機能やユーザー特有のご要望が多くあり、開発を開始してみると、Web Performer の標準設定だけでは対応できないことが出てきました。たとえば『日付欄で 00 と入力すると自動的に当日を入力』などの独自ルールには必要に応じて手組みで対応しました。Web Performer で『ビジネスプロセス』は組めても、処理が複雑なバッチ処理については、ストアドプロシージャ機能を使って外部で処理し連携させています。他にも、要望に応じてピクセル単位でレイアウトを調整したり、CSS を工夫してユーザビリティに優れた操作画面を実現しました。

こうした課題解決では、開発に参加したキャノン IT ソリューションズメンバーが助けになりました。標準機能・設定でできる事とできない事が明確に理解できまし

たし、対処方法を随時アドバイスしてもらえたことは、特に開発初期段階では助かりました」

## 成果 取り組みの成果 開発の革新とユーザー満足を実現

### 新システムのユーザー、新洋海運株式会社様に伺います。 開発されたシステムにはご満足なさいましたか

「以前のパッケージに対する 200 超の改善要望はほぼ実現し、ユーザビリティに優れたシステムになりました。帳票などは、以前のものが忠実に再現されており、システムの切り替えに伴ってもユーザーサイドでの戸惑いはありませんでした。

また、従来は月末のデータ処理に時間がかかると不満もあったのですが、これも大きくスピードアップされました。稼働後も、引き続き要望に対する最適化などを行ってもらい、操作性はさらに進化しています」



左から、代表取締役社長 西川博様、  
開発 2 部部长 宮本孝一様、  
同部課長 西野光一様  
新洋海運株式会社 経理部経理課 上席課長 井田昌宏様  
専務取締役 松田茂樹様

### Web Performer は開発スタイルを変えましたか

「自動生成される部分の詳細テストが不要になり、工数は大きく削減されました。開発スピードだけでなく、開発品質も向上しました。たとえば画面遷移や動き、テーブル更新まで再現できるサンプルを早期に作成できるので精度の高い仕様確認が可能となり、修正・改造も容易になりました。開発期間の削減分を、追加テストにあてることで、システムの信頼性も高まりました。

また運用も変わりました。Web Performer での処理定義は属人的要素が非常に少ないため、誰が開発した機能（モジュール）でも比較的容易に引き継いでメンテナンスができるようになりました。

開発者育成時間の短縮も大きな成果です。4 月入社  
のスタッフも 7 月には開発の戦力になっています」

## 将来 将来の展望 開発の間口を広げたい

今後の展望についてお聞かせください。

「親会社である新洋海運株式会社の旧システムの見直しを続ける他、今後は、顧客ニーズも改めて調査し、たとえばタブレットなどモバイル端末を活用するシステムの

開発など、Web Performer のメリットを活かして開発の間口をさらに広げたいと思います。

また Web Performer を駆使する開発会社としてキャノングループが手掛ける開発プロジェクトにも参加できれば良いですね」

## 構築システムの概要



### 大規模基幹システムでカバーした業務

- ・ NVOCC (非船舶運航業者) 業務 132 画面
- ・ 輸出・輸入業務 112 画面
- ・ CFS 業務 77 画面
- ・ 通関業務 27 画面
- ・ 倉庫業務 124 画面
- ・ 下払業務 13 画面
- ・ 請求業務 17 画面
- ・ 統計業務 19 画面
- ・ 経理業務 60 画面
- など

### 開発規模

画面数	約 750
テーブル数	約 390
業務系処理数	約 480
帳票数	約 150

## Webアプリケーション 超高速開発ツール Web Performer (ウェブ パフォーマー)

開発工程の実装部分を自動化し、Web アプリケーションの「短期間かつ高品質」での開発を可能にします。

開発元：キャノン IT ソリューションズ株式会社



Web Performer ホームページ

[canon-its.co.jp/products/web\\_performer/](http://canon-its.co.jp/products/web_performer/)

東京 〒108-0073 東京都港区三田3-11-28  
大阪 〒550-0001 大阪市西区土佐堀2-2-4

TEL(03)6741-9527  
TEL(06)7635-3047

**Canon** キヤノン IT ソリューションズ株式会社